

館報

おみ

2月号
No.683

2024.2.25 (令和6年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲四年ぶりの名勝負!! ～村長杯麻雀・囲碁大会～ (2月18・25日撮影) 関連記事は2面

麻績村の文化財を
守るくらし

第十回麻績学級

今年度十回目の麻績学級が二月十五日、地域交流センターで行われました。

今回は、教育長講話「地震に対する日頃の備え」のあと、「麻績村の文化財を守るくらし」と題して、紙芝居の会の皆さんによる「井堀のお薬師さま」の紙芝居上演と、紙芝居のモデルとなった上井堀地区で文化財を守り続ける方々のお話を聞きました。



▲紙芝居の会の皆さんによる上演

上井堀地区から、塚原正路さん（山寺）、飯森忠幸さん（横屋）、城山敏さん



▲文化財を観光資源に活用を

（丸山）の三人より、紙芝居制作の秘話や、文化財を維持、継承していくことの難しさについてお話をいただきました。麻績村の貴重な文化財を後世に伝え維持していくには、広く一般の方に見ていただき、村外へのPR等有効活用していく時代にきているとのお話が印象に残りました。

後半では閉校式を行い、修了証の贈呈を行いました。来年度も麻績学級を実施する予定ですが、皆さんにより一層楽しんでいただけるような講座を考えていきます（来年度の麻績学級予定については八面に掲載）。

復活！新春恒例村長杯
囲碁・麻雀大会開催

第七回村長杯麻雀大会が二月十八日麻績学舎で四年ぶりに開催され、十六名の参加者が集まり、優勝を目指して腕を競い合いました。

また、翌週二十五日には地域交流センターで第二十回村長杯囲碁大会が開催され、十七人の参加者が頭脳戦を繰り広げました。



▲卓上での真剣勝負!!

両大会とも、参加者の皆さんは真剣に、時に笑顔があふれ、新型コロナウイルス感染症によって開催できなかった（うづ）鬱憤を晴らすかのように大会を盛り上げていただきました。

結果は次のとおりです。

第七回村長杯麻雀大会

優勝 飯森 秀俊

（明治町）

準優勝 久保田一雄

（市野川）

第三位 江森 則光

（和合）

第二十回村長杯囲碁大会

優勝 刈間 永伯

（坊平）

準優勝 玉井彦一郎

（筑北村）

飯森 英哲

（横屋）

尾沢 正幸

（岡谷市）



▲攻めの一手



最近、そばが好きだ。寒いこの季節、こしのある麺の舌触りは格別で、休日は美味しいそばを求めて名店を探しに行く。

そばは信州の名物だが、栄養も豊富。ビタミンB群や食物繊維、ミネラル等、栄養素が多く、生活習慣病から、二日酔い、夏バテ防止、ダイエットまで、健康に役立つ。アレルギーのある人は要注意だが、健康が気になる年頃の自分には一番の「推し」。

実は若い頃は、母の作るそばが苦手だった。製麺機で作る麺は、太くふやけていた。そんな母も蕎麦が嫌い。子育ての忙しい中、そば好きな父のために仕方なく作っていたようだ。

母が晩年、手打ちそばを作るようになった。その美味しかったこと。子育てが落ち着いた今、母の味を思い出し、あの時の味を追い求めている気がする。

おみっこ元気くらぶ 今年度活動を終了 「恵方巻をつくるこ」 「閉校式」

小学生の休日を利用して活動しているおみっこ元気くらぶでは、二月三日の節分の日に、麻績村地域交流センターで、児童十五名と保護者三名、信州大学サークルYOU遊未来（ゆうちゃんス）の学生八名、計二十六名で節分の行事食である恵方巻を作りました。子どもたちは包丁を持つのがうれしい様子で、いろいろな材料を切ったり、リーフレタスを細かくちぎったり、保護者や学生と一緒に



▲きれいに並べて巻いてくよ

に卵焼きに挑戦したりして具を作りました。

まきすの上ののせた海苔に酢飯を薄く伸ばし、リーフレタス、卵焼き、カニカマ、キュウリ、ツナマヨネーズを乗せて一気に巻くと出来上がり。今年の恵方は東北東で、巻き込もうとしている福が逃げないようにお願いごとをしながら黙って食べる風習が一般ではありませんが、いざ出来上がると「巻くのが難しかったけど、よくできた」「おいしい」と声に出しながら食べていました。



▲みんなで活動を振り返り

また、二月二十四日には閉校式を行いました。はじめに麻績小学校の体育館を

利用してミニ運動会を楽しみ、その後交流センターに場所を移して閉校式を実施しました。

毎回参加を楽しみにしている子どもたちは、この一年元気がいっぱい活動してたくさんの経験を積むことができました。

閉校式では、この活動を支えてくれたYOU遊未来の皆さんと地域の方々に感謝の気持ちを表すとともに、一年間の活動をスライドにまとめたものを見ながら振り返りました。

来年度も子どもたちの笑顔あふれる場になるよう様々な事業を計画していきます。



▲皆さんありがとうございました

放課後子ども教室 「ウォーキングサッカー」 を体験してみよう

二月七日の放課後子ども教室では、麻績小学校体育館において日本フットサルリーグ（Fリーグ）で活躍している「ポアールス長野フットサルクラブ」よりコーチをお招きして、歩きながら行うウォーキングサッカーの体験教室を行いました。

一年生から五年生までの二十三名の参加があり、一・二年生と三年生以上がそれぞれ二チームずつに分かれて、ボールをドリブルしながらゴールまで運ぶ練習をしたり、ルールを教えていただいたりしてから試合をしました。

ボールをめがけてつい走ってしまう場面も多く、コーチの笛の音で相手チームのボールになってしまうことも多々ありましたが、ゴールキーパーの活躍もあり、なかなかの好勝負となりました。

「経営者に役立つ 法律問題」 新春講演会開催

商工会と公民館共催による新春講演会が二月十一日に、地域交流センターで行われました。今回は弁護士でテレビ等でも活躍している菊地幸夫氏をお招きして「経営者に役立つ法律問題」と題して講演をいただきました。

パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、相続問題等について、わかりやすくお話をいただき、経営者だけでなく、一般の方にも必要な知識を教えてくださいました。



▲法律問題を説く講師の菊地氏

子ども議会 舌戦を繰り広げる

一月二十九日麻績小学校六年生児童が、麻績村役場議場において、「第十八回子ども議会」を行い、自分たちの考えを村に届けました。



▲思いは未来へ

村議会議員八人の立ち会いのもと、児童たちは麻績村長や各課長ら村関係者と熱い議論を交わしました。スクールバス導入の提案や通学路沿いの街灯を増やす提案があり、一回のやりとりで終わらず粘り強く質問する児童もいて活発な議

論となりました。

参加した児童からは、議論をする際の下調べや話す順番などの大切さを実感したなどとの意見がでて、真剣さが伝わる子ども議会となりました。

ふるさとプロジェクト 村へ提言を実施

二月六日に麻績村役場二階議場において、筑北中学校三年生二十四名が麻績村長へ提言を行いました。



▲若い感性を注入

麻績村の発展や地域活性化に向けて何ができるのか「ふるさとプロジェクト」と題した地域学習の一環と

して、そのアイデアを発表しました。この日のために三年間一生涯学習してきた成果を十分に表すことが出来ました。

生徒たちは、環境改善・起業支援・農業発展・農業支援など五班に分かれて発表しました。

麻績村長は、生徒たちの提言を受け止め、今後の村政に活かしていくことを約束しました。

生徒たちはこの三月に中学校を卒業します。今回の



▲三年間の集大成

「ふるさとプロジェクト」の学びや村への提言は一つの通過点です。様々な視点から麻績村の未来を考えたこの学習を今後どのように繋げていくのか楽しみます。

おみ図書館アンケート の集計結果について

昨年十月から十一月にかけて実施したおみ図書館についてのアンケート結果の概要を報告します。

アンケートは図書館来館者向け、全村民向け（館報で全戸配付）と二種類配付しました。個別の結果については、後日村ホームページ及びおみ図書館窓口で確認いただけるようにします。

来館者向けと全村民向けのアンケートには意見の差があり、前者の回答は、小学校併設の形態にも理解があり、不便を感じていない村民の方が多く利用していることから、満足度が比較的高い結果が得られました。後者については改善を求めめる声が多く、現状に不満がある層は来館しないとい

う状態がうかがえました。しかしながら、図書館の利用者の中にも現状の改善を求める意見があります。

全体のアンケートを通して多く出された回答は、大きな潮流となってきた図書館の複合施設化や、気軽に立ちよることが出来るフリースペースを併せ持つ施設を希望する声でした。また、学校との併設を継続するにしても、書庫・滞在スペースの改善は強く望まれ、静かに本を読めるスペースの確保が必要になってきます。

今後、村内施設の利用形態の見直し、建て替え改築等の検討時に図書館のあり方も合わせて検討するよう働きかけをしていきます。今回のアンケートにご協力いただいた皆さん本当にありがとうございました。





▲おいしいね

元気通信!!

～今月の小・中学校～

麻績小学校

一人一人を大切にした 麻績村の教育

聖学級では、子どもたちの願いによりそい、いろいろな人と交流したり体験したりすることを通して、楽しみながら自立的な生活を目指す学習をしています。

なかよし教室では、体験を通して学びをしています。中国ゴマでは、「加速して、コマ



▲カッコいいでしょ



▲漢字をすぐに確かめることができます

の外側からひもを一周まわして下にひっぱると、コマが上にかかるよ」等、コツをつかんで楽しみました。学びの教室では、「分かりやすいプリントのレイアウトは?」「絵カードはどうかな?」「ICTを活用したら?」等、自分の学びやすい方法を試してやってみて、考える学習をしています。

筑北中学校

学年最後の テストに向けて

一年 薄田 庵

いよいよ学年末のテストが近づいてきました。

中学生になって初めての一学期末テストでは、自分に合った勉強方法がまだ身につけていなかったり、どのくらいのペースで進めればいいのかなどわからないことが多い、なかなか点数が上がらなかつたりしたけれど、二学期中間、期末を終えて、自分が一番覚えや



▲総合的な学習の発表 (一年生)

すい勉強方法を見つけることができませんでした。学年最後のテストなので、しっかりと勉強し、いい結果を残したいです。

二年生最後の テストについて

二年 飯森 海

とうとう二年生最後のテストです。

ここで最近あることに気づきました。それは三年生のすごさです。委員会などの企画を行いながらテストに向けての勉強をするのは、とても大変だということでした。



▲授業参観での発表 (二年生)

今までは勉強と習い事の両立でしたが、新たに委員会が加わりました。先輩方を見習って一生懸命取り組みたいです。

将来の自分のために、今からできることをやっていくという面でも勉強は特に大事だと思うので、今回のテストをしっかりやりきりたいと思います。

進路実現と 卒業に向けて

三年 大籾 璃央

私は、三月に三年間過ごしてきた筑北中学校を卒業します。私は、卒業後の進路を決めるにあたり、とても悩みました。

進路選択に向け、高校の体験入学や文化祭に行ったり、志望校が決まったら、学力を上げるために学習時間を増やしたり、塾に通ったりと、実現のための努力をしてきました。最後の追い込み、頑張りたいです。そして、仲間と過ごす残された日々、一日一日を意識しながら大切に過ごしたいです。

相撲と麻績の事跡

(その四)

行司について

林家の文書には、木村庄之助利政(花押)・上井堀区(花押)の文書には、日本角力行司目附十三代木村庄之助正

輝(花押)と記されている。庄之助は、寛永年中(一六二四〜一六四四)、真田伊豆守の臣中田清重が行司をつとめたのを祖とし、三代目から木村庄之助を代々襲名し、現在は三十八代である。行司は、土俵で東西の力士を立ち合わせ、勝負を判定し、勝ち名乗りを授与する役であるが、取組の原案番付表づくり、アナウンスなども兼務するという。行司には格があり、幕下格・十両格・幕内格・三役格となり、最高位が立行司で三十八代木村庄之助はその筆頭である。四十一代式守伊之助(二〇二四年二月現在空席)も立行司である。

免許

其許業道親公身持実成者之付先代つ牙、後至は及政正付我下先許古海空糸お遠々し控上り御公儀様所法序、依不申及相撲作法急取守可申且と師牙し依志却不及根平日は善海公趣可申神本奉禮相撲者看い常不待い依公私可没控又も助助と免も公い人立る業及依の公も同届日件は写取い為後日相渡を沈快仍る如件

天保二年九月

木村庄之助

利政

信品筑磨郡麻績宿住

四阿山安右馬つ女

▲林家文書「相撲の免許証状」

十枚目格(十両)になると、衣装は綿から絹などに、素足から足袋の着用が認められるという。長野県から茅野市出身の行司木村幸三郎さん(四十歳)が大相撲で活躍している。関取と同等と見られる十枚目(十両)格で、現在幕下の終盤を担当、行司の出番が終わると場内アナウンスも担当しているという。

奉納相撲について

奉納相撲とは、神社や寺院の祭祀にその境内で行う相撲である。奉納力士は様々で、江戸大相撲の門弟衆や地方の免許力士などが

参加した。素人相撲・草相撲・野相撲・地相撲等とも言い、地元の子ども・青壮年・他村からの飛び入り力士が参加して興行された。村誌によれば、奉納相撲は天神さまではほとんどの集落で実施され、麻績神明宮、麻績神社、天王社、上井堀細川太神宮、桑山秋葉神社で奉納された記録がある。

新聞報道では、令和五年九月三日、筑北村坂北中村区四阿屋神社で奉納相撲が催された。

小諸市小諸八幡宮では、令和五年九月三日、市重要無形民俗文化財に指定されている「小諸八幡宮八朔相撲」が小学生二〇名参加して催された。この奉納相撲は、元禄四(一六九一)年旧暦の八月朔日(一日)に始まったのが由来とされている。

このように奉納相撲が各地で復活しつつある。

天野社と奉納相撲

麻績神明宮境内に、天野

助次郎を祀った天野社がある。本名を正景(一七〇三年〜一七八八年)と言い、助次郎は通称である。宝暦四(一七五四)年〜宝暦八(一七五八)年、中野・坂木(現坂城町)の代官となり、麻績組の村々は、この代官支配となる。宝暦六(一七五六)年、この代官の尽力により、中山道筑摩三宿(塩尻・洗馬・本山)への課役として徴用されていた加助郷の廃止に尽力した。これにより、農民は救われ神様として崇め、生き神として慕われた。

宝暦六(一七五六)年、寂蒔村(現千曲市)について、麻績組では、宝暦八(一七五八)年麻績神明宮境内に「天野社」が創祀された。

そしてその祭りには、農民の若者を中心に相撲が奉納された。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



二〇二四年本屋大賞
ノミネート作品紹介

第二十一回本屋大賞のノミネート作品十点が発表されました。おみ図書館が所蔵している本を一部紹介します。(作品名五十音順)

黄色い家

川上未映子 著



ある日、目に飛び込んできたニュース記事を見て驚く主人公の花。それはかつて一緒に暮らしていた女性・黄美子さんが逮捕されたという内容だった。二十年前、花と黄美子、そして同年代の桃子と蘭。彼女たちは、同じ屋根の下暮らしていた。スナックを

立ち上げ、頑張って働いて貯金もして…。貧しいながらも楽しく明るく過ごしていた彼女たちだったが、ある時を境に関係が崩れはじめる。そして彼女たちは悪事に手を染めていく…。

君が手にするはずだった黄金について

小川 哲 著



読書家の東大生が小説家になり受賞していくまでの連続短編集。「あなたの人生を円グラフで表現してみてください」―冒頭に出てくる問いかけが印象的で、どこか哲学のような感覚を感じながら読み進むことに。自分を偽ってでも認められたい強い

「承認欲求」、これは果たして誰のためにあるのか。何者かになれた自分、自分にとっての「黄金」を探っていく中で、次から次へと怪しげな人物に遭遇していく。自分は一体何者だろう。自問自答しながら共感できる部分もあり。主人公の、小川という小説家、はて、著者自身のことか？

水車小屋のネネ

津村記久子 著



毎日新聞夕刊で話題となつた連載小説、待望の書籍化！谷崎潤一郎賞受賞作!! 「家を出ようと思うんだけど、一緒に来る？」この話は、身勝手な母親から逃れ、若い姉妹が二人だけで生活を立て直そうとするところから衝撃的に始まる。姉妹を中心に、そこで出会った様々な人々や水車小屋で働く賢いヨウムのネネとの四十年間にわたる日常生活を、

十年刻みで描いている。当時の洋楽ヒットチャートや上映されていた映画の話題、実際に起こった出来事を織り交ぜ、共感しながら一気に読める作品。

存在のすべてを

塩田武士 著



毎日新聞出版

警察組織を揺るがす二兇同時誘拐事件が発生した。事件があぶり出す画壇の闇と画家の苦悩。奇跡のような出会いがもたらした救いと哀しみ。未解決事件を追い続けた新聞記者が最後に見た風景に、読者はきつと涙する。著者の新たな代表作と呼び声高い一作。

みんなで そだてる
2月のおみ図書館

1月貸し出し数	
貸出冊数一般	818冊
貸出冊数児童	972冊
来館者数一般	341人
来館者数児童	800人



▲ここ、すごく面白かったよ！

麻績小学校図書館だより

六年生は、中学校体験時に中学生に交じってビブリオバトルを行いました。そこで、五年生も先輩方のお手本を参考に、ビブリオバトルを体験してみました。グループになって自分のお気に入りの本を紹介し合い、最後にチャンプ本(一番読みたいと思った本)を決めます。簡単なトークメモは作りましたが、アピール力が肝！と考え、相手の表情を見ながら話すことを目標にしました。緊張する…と言いつつがんばる姿がたくさん見られました。また、聞いている側も友達はこんな本を読んだと本を通してその人を知る機会となりました。

令和6年度「麻績学級」予定表

時間：午後2時～4時まで

会場：地域交流センター研修室 他

回	開催予定日	講座内容	講師	備考
1回	5月16日(木)	開校式 村長講話 ギター演奏と歌	麻績村長 塚原勝幸氏 麻日屋 伊藤快氏	本年度の講座の説明
2回	6月20日(木)	防災の話	松本地域振興局林務課	
3回	7月18日(木)	千曲の里を知る 大雲寺・霊浄山	聖博物館名誉館長 宮下健司氏	参加費有料 定員25名
4回	8月22日(木)	音楽を楽しむ ギター演奏と歌	池田町 中村豊氏	
5回	9月26日(木)	自然を楽しむ 池の平湿原ウォーキング	公民館職員	参加費有料 定員25名
6回	10月24日(木)	信州大学出前講座 自然の中の毒と薬	信州大学出前講座	
7回	11月14日(木)	ニュースポーツを楽しむ ダンボルック	公民館職員	
8回	12月20日(金)	ニュースポーツを楽しむ ラダーゲッター	公民館職員	
9回	1月23日(木)	ボードゲームを楽しむ 新春ボードゲーム大会	滝沢武士氏	
10回	2月27日(木)	閉校式 詩の語り	おはなしや 麻もようの皆さん	表彰式 来年度講座予定



令和6年度麻績学級 予定表について

令和6年度の「麻績学級」の予定をお知らせいたします。多くの皆さんとの交流を通じて「絆」を深めましょう。来年度は左表の日程で計画してまいりますので、大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。

●麻績村の方は、年代を問

わず、どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。

●各回、事前に日程・内容を広報無線または、チラシにより連絡します。なお、日程・内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ先
麻績村公民館
☎六七―二二四〇

地域の農と暮らしを 次世代につなぐために ～JA松本ハイランド 支所協同活動講演会～

二月二十四日地域交流センターにおいて、JA松本ハイランド麻績支所・聖南支所協同活動合同講演会（麻績村・筑北村農業委員会協賛）が行われました。

今回は「農地集約の実現に向けた長野市綿内地区の挑戦」と題して長野市農業委員会会長青木保氏をお招きして、耕作放棄地が増加した長野市綿内地区の農地を集約し、地域農業の課題解決に取り組んだ体験談と、

地域における将来の農地利用の姿を明確化する地域計画の策定についてご講演をいただきました。

中山間地域に位置する狭小かつ不整形な圃場の多い青木氏の地元・綿内地域において、高齢化に伴う担い手不足の課題を解決するため、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した基盤整備を進め、果樹地の将来像を明確にした人・農地プランを策定し、農家負担ゼロの圃場整備事業で後継者を確保することができた体験談をお話いただきました。

当日は麻績村・筑北村から多くの皆さんが訪れ、青木氏の話に熱心に耳を傾けていました。



▲農地の将来像を明確にしましょう

編集後記

月面への着陸に成功した無人探査機「SLIM」。月面着陸に成功したのは、日本で初めてで、世界でも旧ソビエト、アメリカ、中国、インドに続いて五か国目となったそうです。

月面に着陸をすることは宇宙探査を行う上で欠かせないステップとのことであり、大きな一歩を踏み出したことに感動しました。今後の宇宙探査の進展に目が離せなくなりそうです。



ご冥福を祈る

青木 政吉	86歳	下井堀
桐山 好宗	93歳	砂原
柳澤モト子	96歳	桑原
飯森 文井	95歳	横関
飯森 操	102歳	横屋
滝沢 健夫	77歳	上在家
中島 照	80歳	本町